

6月議会

請願
本会議でも
不採択



(写真上 貴生川幼稚園)
(写真下 貴生川保育園)



22日文教常任委員会に続き、 最終日の27日の本会議でも不採択

貴生川の保護者や区長会から出された2つの請願は、多くの傍聴者の願いには背を向け委員会に続き本会議でも不採択となりました。市民の切実な願いが通る議会になるために、反対した議員の姿勢が問われています。

これでいいのでしょうか。

市民の願いが通る議会に

請願趣旨

廃園の決定までの経過、廃園理由と、市の幼保検討委員会の答申との矛盾点等の説明を求めてきたが、廃園ありきと一方的な説明で、決定までの情報公開も十分でなく、住民の不信は払拭されていない。議会に要請する。

一方的な廃園計画ではなく地元への納得のいく説明と情報公開を求める 請願3号についての委員長報告

反対討論 行政はあらゆる方法で関係者に説明や資料公開をしており、今後も催す予定、後は各人の判断。ただ、市民の不安解消のため、民の施設に対して議会として何らかの担保をとりつける努力が必要。

賛成討論 市民への納得のいく説明は、行政の責任、関係者との溝を埋めるためには、情報公開と議会の口添えは当然あるべき。

日本共産党議員団の質疑、討論

行政は、経過についての説明責任を果たすことと、情報公開は当たり前のことです。しかも、貴生川の区長会の代表である区長会長からの請願は地域の声をまとめたものです。議会は、これら地域の声に応え、行政責任を果たすことと情報公開をするべきことを行政に求めるべき請願を採択すべきです。

傍聴者の怒りの声

◎ 両園を閉園するまでに少なくとも住民の意見を聞いてからにしてほしい。

◎ 行政は決めたことを一方的におしすすめようとしていることを実感した。

◎ 住民の請願を通さない議員さんたちの目の当たりにして憤りを感じた。

◎ 文教常任委員長が不採択とした見解が聞けなかったのが残念。

◎ 「愛ある行政」をしらじらしく感じた。

請願趣旨

市立の貴生川幼稚園・保育園の存続を求める

市は来年3月末で公立貴生川幼稚園・保育園を閉園、認定こども園に移行する旨の説明をした。しかし、地元関係者が育てた誇りある両園の意義成果を無にし、巨大民間園にシフトを強制するもの。そのことは、行政責任を放棄し、公立園のサービスを受ける選択肢が奪われる。存続を求める。

請願4号についての委員長報告

委員長報告は賛成反対討論の中身を報告せず、閉園についての議論が教育委員会で十分されたか。計画定員465名に対する安心安全性の課題、修学前教育にたいする本市のあり方。国庫補助打ち切りと民営化の関連。市全域の修学前教育の将来ビジョン。当初予算と閉園の関連性などが議論された、と述べただけに留まりました。具体的な討論は述べられていません。

日本共産党議員団の質疑、討論

地域の宝ともいふべき公立園を廃止することは、行政責任の放棄といわなければならない。市の一方的な閉園ありきの押しつけではなく、市民との対話を続け保護者が選択できるよう少なくとも公立園を存続することこそ行政の責務だ。

日本共産党甲賀市議団のホームページ <http://city-koka.jcp-web.net/>



日本共産党

甲賀市議団ニュース

2011年7月3日 NO. 95



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel 62-9652
Fax 76-0150



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765